

とうべつ

手にとって <sup>ぐ〜っと</sup>good 身近に



WEB版はこちら

# 議会だより



No. 209

令和4年6月1日発行

## CONTENTS

## 3月定例会

町長・教育長の執行方針に対する代表質問 . . . . . p. 2

- ・デジタル都市の実現に向けて
- ・新庁舎とまちづくりを考える
- ・当別町の農業を守るために！
- ・女性農業者活躍へ向け環境整備を

議論続く除排雪、工事続くとうべつ学園 . . . . . p. 7

予算審査特別委員会、常任委員会、令和3年度補正予算審議

6人の議員が町の考えを質す . . . . . p.14

- ・安心・安全の当別町に
- ・スウェーデン大通の歩道整備を
- ・公園遊具整備の早期再開を
- ・町の将来の問題、町挙げて運動を
- ・次世代に継承可能な農業政策を！
- ・子育て世帯の支援にリアルな声を

新設された「とうべつ学園」を視察 . . . . . p.22



新しい校舎で授業に臨む児童（当別町立とうべつ学園）



# 代表質問

会派清新 山田 明 議員

質問の  
ねらい

## デジタル都市の実現に向けて

人口減少、少子高齢化に歯止めがかからない現状に加え、コロナ禍で町全体に閉塞感が漂っている。人生100年時代を迎え、アフターコロナを生き抜き、町を総合的に発展させると執行方針で表明している。子

どもから高齢者まで、町民の生命や財産の安全が確保され、安心した生活が送れるようにデジタル化を進め、“デジタル田園都市”の実現を目指すとするが、町の課題克服に向け、どのように取り組む考えか伺う。

ここが  
聞きたい

## デジタル格差への対応は

問

地方行政においても、デジタル化の波は、すでに浸透しつつあるが、デジタル機器に不慣れな住民、特に高齢者へのサービスやサポート体制をどのように図るのか。

答

対策の1点目は、高齢者向けスマホ教室の開催で、2点目は、さらなる高齢者のマイナンバーカードの取得促進である。全町民がデジタル化の恩恵を受けられる町の実現に向け、努力する。

ここが  
聞きたい

## 役場新庁舎の建設に向けて

問

近年、各地で地震が多発しており、町内で地震が発生した場合、庁舎の倒壊が考えられる。庁舎には防災センターの役割もあり、建設にあたっては事業スピードを最優先とすべきでは。

答

役場庁舎は、災害発生時の対策本部となり、また住民の避難場所ともなる防災拠点の最重要施設である。従って、新庁舎建設事業は、早急な事業展開が必要であると認識している。

ここが  
聞きたい

## 6次産業化の取り組みは

問

道の駅プロジェクトの「生産して、加工して、販売する」という6次産業化は、地元の生産者、JA北石狩、商工会との連携が必須である。具体的にどのように連携して事業を進めるのか。

答

地域商社機能を持つ(株)tobeの指定管理業務に地域特産品開発業務を追加。当別ブランド創出は、tobe、JA、商工会、町はもちろん、農業者や事業者の強い意思と実行力が必要不可欠。



北欧の風 道の駅とうべつ

ここが  
聞きたい

## 除排雪体制の強化は

問

2年続けて災害級の大雪に見舞われた当別町において、雪対策の強化にどのように取り組むのか。役場内に除排雪の専門部署の設置を検討するなど、次年度に向けて除排雪体制の強化は。

答

大きく2点あり、1点目は人員不足の解消、2点目は効率よく作業できる発注方法の検討が必要。部署は道路を管理する建設課が適切と考えており、令和4年度も現体制で進めていく。

ここが  
聞きたい

## 役場組織の編成替えは

問

役場職員の資質向上及び働き方改革に向けて、部署の新設、統廃合など人事も含めて行政組織の編成替えが必要では。

答

組織編成、職員人事は、町長に与えられた権限。課題に対し速やかに効果的に対応できるよう編成、人事を行っていく。

# 代表質問 会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の  
ねらい

## 当別町の農業を守るために！

水田活用の直接支払交付金の見直しは農家にとって影響が大きく、農業がこれからも発展していくために、その対応について質した。また、昨年に続いて大雪となり、さまざまな影響が出た。安心して住み続ける

ための除排雪体制の整備について質した。さらに、本年4月に開校となる「当別町立とうべつ学園」の校舎の特徴と教育効果について、幼児教育のICT化について見解を伺った。



ここが  
聞きたい

## 当別町農業を守るために

問

本町は農業を基幹産業として発展。昨年11月に水田活用の直接支払交付金の見直しが示され、農家にとっての影響は非常に大きい。農業がこれからも持続的に発展していくための対応は。

答

先日、農業再生協議会を開催し、多年生牧草の交付金単価の大幅な見直しなど、課題が多く共有された。国の動向を注視し、町内農業関係団体、北海道、町村会と連携し対応していく。



田植えの様子

ここが  
聞きたい

## 新たな除排雪体制を

問

昨年に続き災害的な大雪により甚大な被害が出た。豪雪地帯の当別町として、町民が安心して暮らしていくためには、新しい除排雪体制が必要であると考えるが見解は。

答

最大の課題はマンパワー不足である。この解消のため、組合への加入に関わらず、町内事業者、町外事業者の参入により、体制強化を図っていくことが、町民の満足度を高めると考えている。

ここが  
聞きたい

## 幼児教育のICT化

問

※1  
幼児教育のICT化について、子どもたち、保護者にどのような負担軽減となるのか。また、保育士の働き方改革に、どのようにつながるのか。幼児教育のデジタル化の見解は。

答

子どもや保護者には、送迎バスの待ち時間が見える化され、各種手続きや園との連絡等が簡素化される。また、保育士は、園児情報の管理、保育日誌の作成等、事務作業の軽減が見込まれる。



当別町立とうべつ学園

ここが  
聞きたい

## とうべつ学園の開校

問

本年4月より、とうべつ学園が開校。変化の激しい困難な社会の中で、未来を生き抜く力をつける取り組みを進め、そのけん引校となるととうべつ学園の校舎の特徴と教育の効果は。

答

ゆとりのある空間や自由度の高いレイアウトは、これからの時代の学びを実現するにふさわしい環境。小学生と中学生が一緒に生活することで、期待以上の効果が表れると確信している。

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールやSNSなど通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

# 代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員



## 質問のねらい 新庁舎とまちづくりを考える

新駅開業に伴い、公民連携の周辺開発が始まった。本町地区では、新校舎の開校を目前に、子育て世帯向け公共賃貸住宅の整備や新築住宅支援等により転入増を目指しているが、新庁舎の候補地決定に伴う廃止

後の庁舎や町有施設の利活用課題が山積している。今後のまちづくりにデータを駆使し、本格的に検討すべき時期と捉え、町長に質した。また、町を担う新デジタル世代のGIGAスクールの現状について質した。

ここが聞きたい

## 町に有益な候補地決定を

**問** 新庁舎の候補地が4か所示され、今後、絞り込み作業が進められていくが、住民への説明会のスケジュールは。また、議会に対しては、どの時期に示すのか。

**答** 検討委員会の協議をもとに候補地を絞るが、年内にはその検討状況を含め、住民説明会を開催するなどし、広く町民理解を深めていく。議会への報告は、必要に応じて、遅滞なく実施していく。

ここが聞きたい

## 跡地利用を専門的な組織で

**問** 新庁舎の候補地から漏れた箇所を含めて、跡地利用はこれまで以上に重要性が高い。今後どのように進めていくのか。中心市街地を総合的に研究していく専門的な部署が必要ではないか。

**答** 候補地は、立地適正化計画の方針に基づき、民間活力の導入も含め、有効活用できるように検討していく。また、体制は必要に応じて見直す。新年度はこれまでどおり対応していく。

ここが聞きたい

## ギガスクール構想その後

**問** 国の変更により3年前倒しで1人1台のPCを整備し、教師たちは準備に追われた。ICTの能力の差が子どもたちの格差へつながらないか。教師への研修はどのように実施され、その効果は。

**答** 教育委員会では4年前からICT活用の研修を実施し、道教委や管内の研究機関でも実技研修等の機会を確保。さらに、学校にはICTリーダーを配置。学びに差が生じることではない。



PCで作業する生徒

ここが聞きたい

## オンライン授業を出席に

**問** ICT機器の整備で各家庭での遠隔授業が可能になった。登校が困難な場合、町独自の判断で自宅からのオンライン授業が可能であればメリットは大きいと思うが、出席扱いにできないのか。

**答** コロナ禍や大雪で登校できない場合、オンライン学習を既に実施。国の指針は、出席しなければならない日数には含めず出席停止扱い。現行では自治体の判断で出席扱いとすることはできない。

ここが聞きたい

## プレイハウスの民間委託は

**問** 現行の自前の運営から民間へ運営委託するようだが、これまでの運営に問題があつてのことなのか。あるいは、より充実した運営が望まれたものなのか。なぜ運営形態を変更するのか。

**答** 課題があつたからではなく、限られた予算でさらに質を上げるため、民間委託を選択した。

# 代表質問 会派公明 五十嵐 信子 議員

質問の  
ねらい

## 女性農業者活躍へ向け環境整備を

国の施策として「女性農業者が能力を最大限発揮できる環境の整備」が掲げられ、女性農業者の確保・育成が求められている。6次産業化等の担い手としても大きく期待されいるため質した。また、新年度新たな

計画となる「地域公共交通計画」を策定するため、町民の要望を踏まえた取り組みを質した。さらに、学校において、医師の判断により通学可能となった医療的ケア児を受け入れる考えはあるか質した。



次のページは

新年度予算・令和3年度補正予算等 多岐にわたる質疑がありました。

ここが  
聞きたい

## 女性の活躍は重要な役割

**問** 農家の後継者不足により農家戸数の減少が進むため、持続可能な取り組みが重要。次世代を担う女性農業者が活躍しやすい環境整備や人材確保・育成に向け、どのように検討しているのか。

**答** 町と農業関係機関で組織する農業総合支援センターでは、農作物の栽培方法や経営などの基礎を学ぶ「農業経営塾」を開催。夫婦で参加するなど女性も積極的に参加していると聞いている。



稲刈りの様子

ここが  
聞きたい

## 一人一人に寄り添い解決を

**問** 高齢になり、農地の後継ぎ問題で悩まれる方は多い。担い手確保事業の一環として、人と農地を把握し、安心して委ねられるサポート体制の充実に向けて、どのように取り組まれているのか。

**答** 農業総合支援センターでは、実態を把握するため調査を実施。関係団体で情報の共有を図っている。今後、センターがワンストップ窓口となり、マッチングが進むよう体制を充実させていく。

ここが  
聞きたい

## 医療的ケア児の通学受入は

**問** とうべつ学園の建設決定後、子育て世帯の転入が増加傾向にある。看護師を配置している状況下において、通学可能と判断される医療的ケア児の通学の間口を広げ、受け入れる考えはあるか。

**答** これまでも教育支援委員会において教育学や医学、心理学等の専門的知見に基づき、町立学校での生活ができると判断された場合は、受け入れしている。今後も同様の方針を進めていく。



ふれあいバス

ここが  
聞きたい

## 新たな地域公共交通計画

**問** ふれあいバスは子どもから高齢者に至るまで、なくてはならない地域の足として定着している。町内外利用客の便利で快適な乗り物として親しまれるよう、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 公共交通の充実・確保は、生活の質の向上だけでなく、定住人口の増加の要因となるなど、持続可能な町の構築に不可欠。さらなる利便性向上を目指し、令和4年度には計画を策定する。

# 令和4年度当初予算

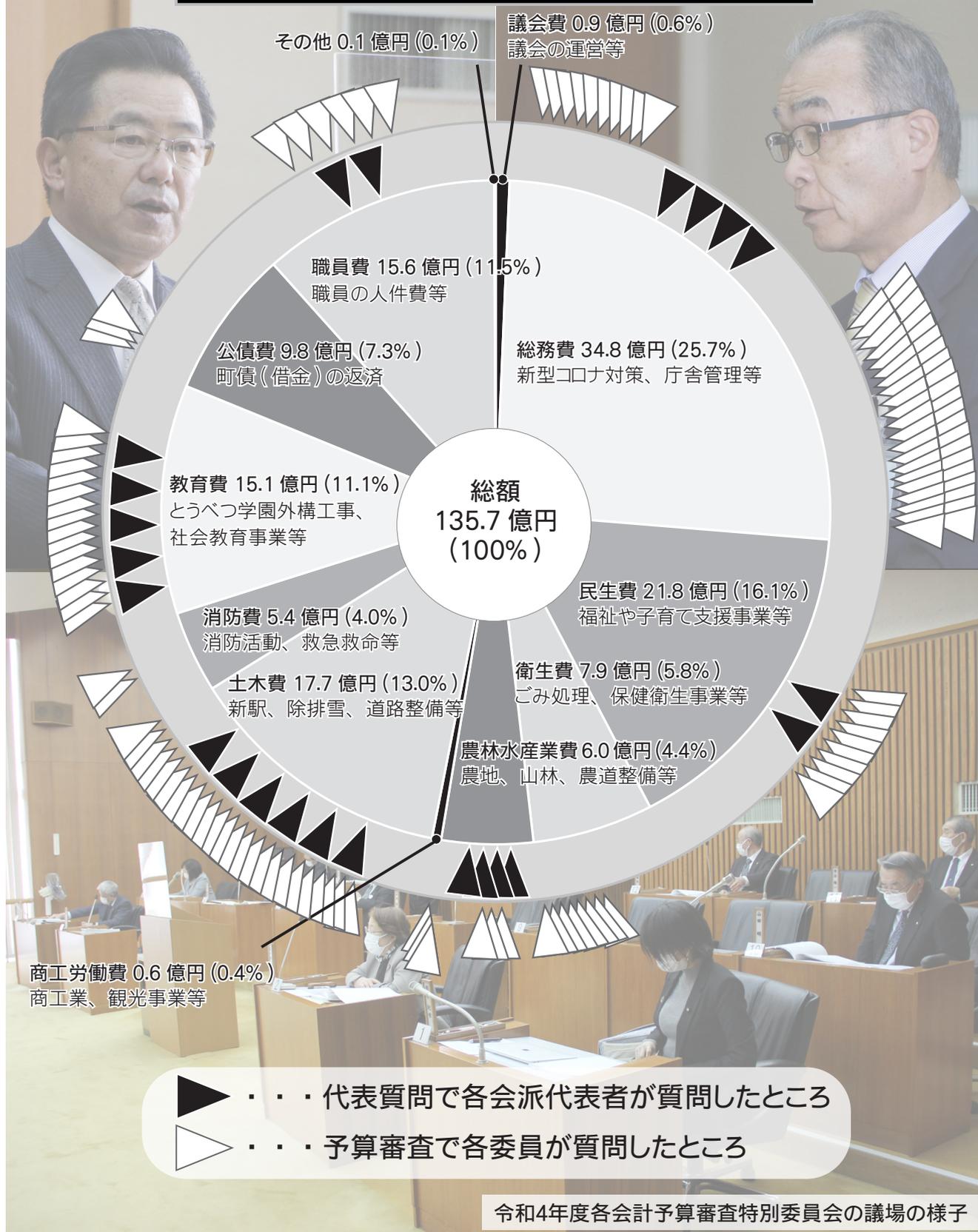
## 私たちは、ここに注目しています！

後藤町長

### 一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長



令和4年度当初予算、令和3年度補正予算

# デジタル田園都市の実現へ

総務文教常任委員会(3/4・9)、産業厚生常任委員会(3/7・11)、予算審査特別委員会(3/16・17・18)を開催し、令和4年度当初予算や令和3年度補正予算に関する質疑が行われました。

## デジタル化へ向けて



タブレットやスマートフォンの操作を教えている様子

総務費

### デジタル格差への対策

デジタルデバйд対策事業 79 万円

問

デジタルデバイス※<sup>1</sup>対策として、高齢者向けスマホ教室を入門、基本、応用の3種類用意しているとのことだが、何か所で何回の開催予定か。また、来年も継続するのか。

答

本町と太美の最低でも2か所で開催したい考え。回数は6か月で24講座を予定。受講者アンケート等を取り、町民生活に資するものとなるのであれば、継続していきたいと考えている。

総務費

### 光ファイバーの民営化

高度無線環境運用事業 353 万円

問

高度無線環境運用事業について、設備の維持管理は、これからはどれぐらい続くのか。デジタル化は国も進めているが、地方創生交付金で賄うなど、財源的な補償は裏付けされているのか。

答

維持管理について、今回は公設民営で整備したが、今後は民設民営としていきたい考え。意向は事業者伝えており、引き続き協議を重ねていく。財源については、現在交付金等のメニューがない。



積雪状況を現地確認する職員

職員費

### 住民の声を聞く職員配置を

職員費 15 億 6,045 万円

問

デジタル対応に向けた職員増とのことだが、雪害はアナログで解決しなくてはならない。現地で住民の声を聞き対応するような職員配置も必要と考えるが、その辺りの配慮は。

答

デジタルで事務効率上がるのと、他の部分に目を向けた行政サービスを手厚くできると考えている。基礎自治体として、人員を確実に確保しながら、行政サービスに努めていきたい。

※1 デジタルデバйд…インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差。

## 固定資産税業務にデジタルを活用

固定資産税の対象となる土地や家屋の調査業務について、最新の地図情報を利用し、業務効率化を図るため、GISの導入と航空写真（地図）の撮影が行われます。GISとは、Geographic Information Systemの略で、日本語では「地理情報システム」と訳されます。

撮影した地図と固定資産台帳や法務局が持つデータなど、さまざまな情報を結びつけることができ、業務の効率化や安定化、土地や家屋の評価精度の向上などが図られます。

総務費

### 航空写真は複数自治体で

固定資産 GIS 構築事業 4,089 万円

問

固定資産 GIS システム導入事業について、航空写真を撮るのに、1,994 万円かかるとのことですが、単独市町村ではコストが大きいので、近隣市町村と共同で行っては、

答

共同化は検討すべきものと認識。しかし、令和 4 年度の撮影は各市町村との協議が整わなかった。次回の撮影は、共同の機会があると思うので、引き続き検討したい考え。

総務費

### 航空写真オープンデータ化

固定資産 GIS 構築事業 4,089 万円

問

費用がかかる航空写真は、税金を使って撮影した町民の共有財産でもあるので、共通利用できるように検討が必要では。

答

今回は、あくまでも固定資産業務に関する航空

写真の取得で、精度が高く個人情報も映るため、公開については内部検討が済んでいない状況。現状ではできないが、将来展望としては、もちろんオープンデータ化<sup>※1</sup>が望ましいと認識している。

## 新庁舎建設へ向けて

土木費

### 新庁舎検討の支援業務

新庁舎建設検討支援業務 990 万円

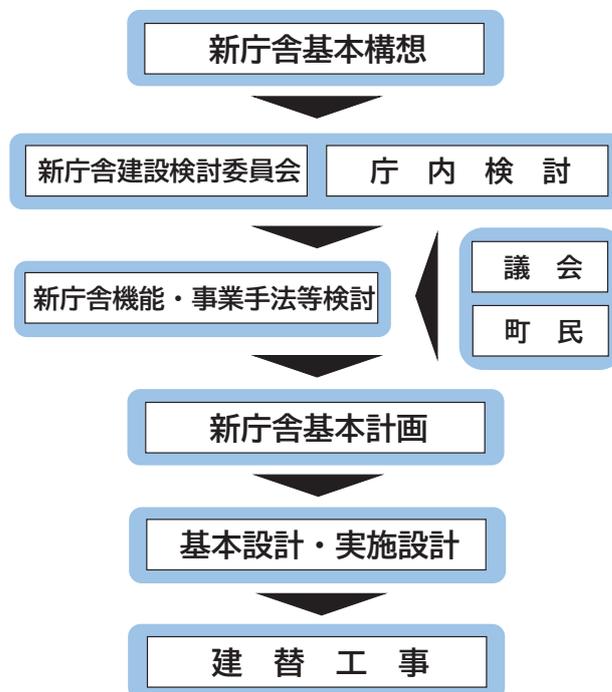
問

新庁舎建設検討委員会の議論と新庁舎建設検討支援業務は、どのように関連するものなのか。業務の成果物として、基本構想や基本計画など、何か提出を求めるのか。

答

委員会で検討した内容を取りまとめたり、協議する内容を整理することで、お互い関連を持って進めていく。必要機能や建設規模などを協議するので、それをまとめたものが成果物になる。

庁舎建替工事までの手続きの流れ



土木費

### 新庁舎建設の補助金

令和 3 年度補正予算審議

問

新庁舎建設に係る補助金は、整備手法を問わず活用できるのか。例えばリース方式<sup>※2</sup>の場合には当てはめられないなど、手法によって違いはあるのか。

答

国と協議し、リース方式でも該当すると聞いている。庁舎の所有権が町と事業者のどちらにあるかが重要で、リース方式でも町に所有権を移せば、補助金の活用もしやすくなるかと考えている。

※ 役場新庁舎の検討に関する情報は、順次公開を進めていますので、詳細については、当別町のホームページをご確認ください。



※1 オープンデータ化… 行政や企業が保有するデータをインターネットなどを通じて誰もが利用できるように公開すること。

※2 リース方式… 民間が資金調達から、公共施設の設計や建設、運営等までトータルで行い、その対価をリース料として支払う契約方法。

# 新たな除排雪体制「当別モデル」を

土木費

## 2回目の排雪は

令和3年度補正予算審議

問

生活道路の排雪は、3月上旬で終わったとのことだが、今後2回目の排雪は行うのか。また、稲穂通りなどの幹線道路でも結構雪が残っているが、それはどうするのか。

答

2回目の排雪は、1回目が一通り終わってから、各路線を再確認して、状況を見ながら管理していきたい。幹線道路については、生活道路を一部優先する部分もあり、今後行っていく考え。

土木費

## 町内会への除雪機貸与

令和3年度補正予算審議

問

3町内会に除雪機を貸与したが、その使用状況や効果は。令和4年度はどのようにしていくのか。

答

2月末現在、3町内会合計で23回利用され

ている。主にゴミステーションや会館と団地の通路で利用しているとのこと。ご好評をいただいている。今後、町内会から状況を伺い、連絡協議会で効果を報告し、また意見をいただいて、継続等決めていきたい。

土木費

## 雪堆積場の確保は

令和3年度補正予算審議

問

令和3年度は、前年より1.6倍の雪堆積場を確保したとのことだが、もう一つの川下の雪堆積場を使わないで済むのなら、確保する必要はなかったのでは。来年も同じように確保するのか。

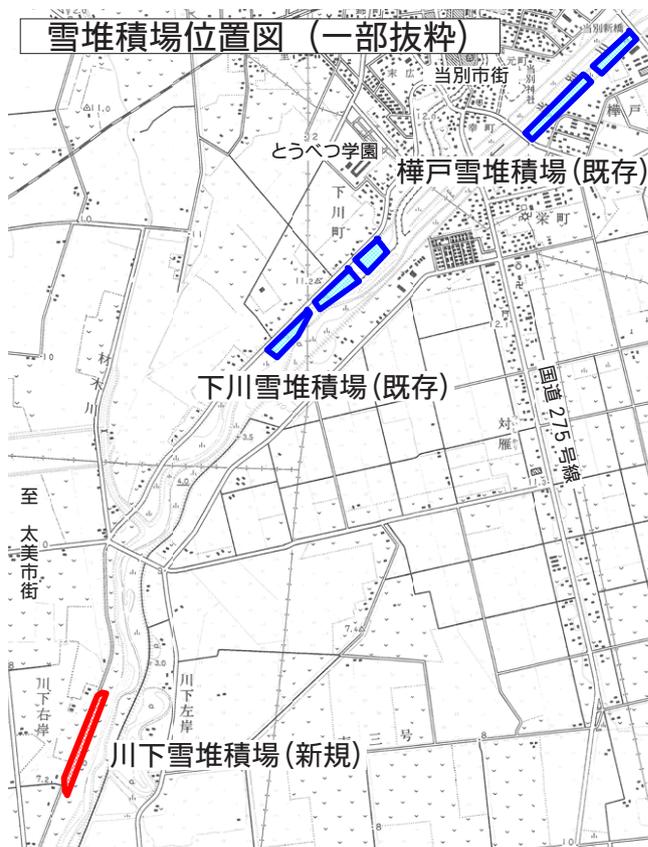
答

容量が9割を越す状況もあり、必要だったと判断している。川下もたまたま入れていないが、また雪が降る可能性もあり、保険として持つことが必要。今後も継続して確保していきたい。



雪堆積場（樺戸町）

## 雪堆積場位置図（一部抜粋）



土木費

## 来シーズンの除排雪費

機械センター費 4億7,304万円

問

令和3年度、除排雪に7.6億円かかった。令和4年度は4.7億円で本当に良いのか。予算の圧縮や違う除排雪体制を考える大きな転機だと思うが、今後どのように進めるのか。

答

当初予算をどこまで持つべきか議論を重ねた結果、4.7億円とした。豪雪地帯の当別町にとって一番良い、他の自治体に負けることのない新しい方法をしっかりと考えていきたい。

土木費

## 除排雪「当別モデル」

機械センター費 4億7,304万円

問

令和3年度の除排雪費は、町民1人あたり5万円弱。179市町村の平均が1~2万円、道内で断トツの金額。町税20億円のうち4割を除排雪に使う状態をどのように考えているのか。

答

除排雪は青天井に予算を付けられないものではない。昔から除雪で優位的である当別ならば、事業費節減に向け、当別モデルという体制を作れると思うので、町全体でその協議をしていきたい。

# 新築住宅購入支援

住宅購入支援 支援金額表

		世帯区分		
		子育て世帯 (70万円)	複数世帯 (30万円)	単身世帯 (15万円)
基本 額	当別町立地適正化計画に 定める区域			
	居住誘導区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域外 (20万円)	90万円	50万円	35万円
	用途地域外 (15万円)	85万円	45万円	30万円

※ 住宅を建てる区域、世帯構成によって金額が異なります。詳細は当別町のホームページをご確認ください。



総務費

## 新築住宅購入支援の状況

新築住宅購入支援金 4,000 万円

問

新築住宅購入支援事業が1月から開始されたが現状は。また、周辺自治体の方々には、どのように周知しているのか。

答

現在2件の申請があり、支援金を交付してい

る。周知については、町ホームページや広報の他、町内金融機関の協力の下、住宅ローンプラザでチラシを配布してもらっている。令和4年度は、首都圏等に行き、広くチラシ等を配布してPRしていきたい。

# 福祉の向上・充実を



産後ケア事業で子育てに安心を

衛生費

## 新たな産後ケア事業

産後ケア事業 45 万円

問

新たな産後ケア事業の対象を産後4か月未満とする理由は。また、同じ助産師に担当してもらえるのか。

答

委託先の医療機関、助産院の受け入れ可能期間

ということで、この期間とした。同じ助産師については、訪問型は配慮いただけるが、宿泊型は難しいと聞いている。違う助産師でも、しっかり引き継ぎされた対応により、大きな心配はない。

民生費

## 防寒保護ブーツも検討を

重度身体障害者等日常生活用具給付費 689 万円

問

重度身体障害者等日常生活用具給付金について、防寒保護ブーツは、当別の冬の移動には欠かせないものであるが、町の対象項目に入れるよう検討はできないか。

答

これまでもパルスオキシメーターやオムツの追加、ストーマ<sup>※1</sup>用具の金額見直しを行ってきた。保護ブーツも含め、障がいの多様化や社会情勢を考え、追加や見直しを随時検討していく。

介護特会

## より早期からの介護予防

一般介護予防事業 991 万円

問

フレイル<sup>※2</sup>予防の会場は、ゆとりのみとのことだが、高齢の方は近いほうが参加しやすい。Zoom や YouTube を使ってハイブリッドで開催すれば、西コミセンなどでも参加できるのでは。

答

体を動かす関係で、講師や参加者が常に画面に映らないこともあるため、ハイブリッド開催は今後の課題としたい。参加者が増え、2会場にしなければならぬ等、要望があれば検討していく。

※1 ストーマ…手術によって作られた人工肛門や人工膀胱。

※2 フレイル…健康な状態と要介護状態の中間の段階を指し、加齢に伴い心身が衰えた状態。

## ふるさと納税



2022年度版 当別町ふるさと納税カタログ



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

総務費

### より一層のふるさと納税を

まちづくり基金寄附金 27 億円

問

ふるさと納税で 27 億円の予算計上。町の大変貴重な財源。予算にこだわらず、より一層増やす対策を検討しているか。

答

新たな返礼品の発掘、寄付者の 98% がポータル

サイトからの申し込みであるため WEB 広告を毎年実施するほか、新たなポータルサイトとして、ふるなびを導入し、各ポータルサイト運営会社と協力し市場調査等を行い、寄付額増加に向けて取り組んでいく。

## 粗大ごみ収集 ゴミステーション整備補助

衛生費

### 粗大ごみの戸別収集

粗大ごみ戸別収集運搬業務 1,779 万円

問

粗大ごみは 2 月、3 月が多いと思うが、雪で狭くなった道路に置くと、通学路の妨げになり危険。小型家電回収のように、自力で運べる人は、役場やゆとろなどに持ち込めるようにしては。

答

粗大ゴミは、道路やゴミステーションではなく、自宅前に置いてもらい、それを回収する対応をしている。ゴミステーションの除雪等の管理については、町内会と連携して対応していきたい。

総務費

### ゴミステーション整備事業

町内会運営費補助金 885 万円

問

町内会のゴミステーション整備に、1 件あたり上限 3 万円で 50% を補助するとのこと。手作りのものや設置済みのゴミステーションの修繕も認めるのか。また、この事業は継続していくのか。

答

箱型ゴミステーションの購入費、修繕のための材料購入費を、町内会運営補助の拡充策に加えるもの。4 月以降に申請をいただき集約したい考え。今後、申請の状況を見て継続していきたい。

## ワクチン接種 子育て世帯への給付金

総務費

### ワクチン接種割合と副反応

令和 3 年度補正予算審議

問

ワクチン接種を拒否している人は町内で何%くらいいるか。また、2 回目、3 回目の接種が終わって、体調が急激に悪化した事例などはなかったのか。

答

2 回接種した方が 87.6% のため、12 ~ 3% の方が接種してないという把握はしているが、拒否している方の人数は把握していない。また、体調の急激な悪化など報告は特にされていない。

総務費

### 子育て世帯等への給付金

令和 3 年度補正予算審議

問

一度、子どもの人数が誤った決定通知書が送られてきたが、その郵便料は予算に含まれるのか。

答

郵便料に含まれる。人為的ミスにより、対象者 588 名のうち 326 件

の決定通知書に該当児童数が誤って記載されていた。該当者から電話をいただき、改めて正しい通知書を送った。今後、送付する際には、二重三重のチェックを行い、こういったことがないよう取り進めていく。

## 続く とうべつ学園の整備

校舎本体や駐車場などは完成しましたが、インターロッキングブロック舗装<sup>※1</sup>の仕上げ、グラウンド整備、当別中学校解体撤去工事は、令和4年度以降に実施されます。また、当別中学校校舎に想定以上のアスベスト<sup>※2</sup>が含まれており、解体工事に時間を要することから、グラウンドのうち野球場と多目的グラウンドは、令和5年10月に完成する見通しです。

### 教育費 とうべつ学園の外構工事

令和3年度補正予算審議

問

とうべつ学園の外構工事を2か年に分けるとのことだが、どこが分かれるのか。また、4月から児童生徒が通うが、その工事により、安全性や遊びや運動の場の確保などに問題は生じないのか。

答

インターロッキング等の仕上げが令和4年度に繰り越しとなる。それにより、グラウンドの造成が令和4年度に入ってしまうが、なるべく子どもたちに影響が少ないような工程を考えている。

### 教育費 陸上トラック移動の経緯

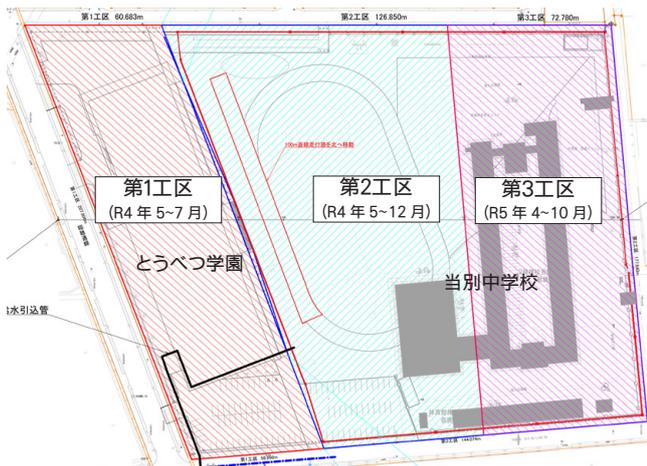
一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

とうべつ学園の100m陸上トラックについて、実施設計の段階では、もう少し南にあったが、北に移動されて芝生広場が狭くなっている。どのような経緯で移動したのか。

答

実施設計後に、100mトラックのフィニッシュラインと競技場で行われる全トラック競技のフィニッシュラインが、同じ位置となることが分かったので、教育活動の最善を考えた上で変更した。



とうべつ学園の外構工事図面（一部）

### 教育費 保護者説明会に古い図面

一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

陸上トラックの移動は、令和2年7月に確定していたと聞いたが、令和3年10月の保護者説明会では、変更が反映されていない図面が使用された。その理由と経緯は。

答

説明会での図面は、教室の位置などレイアウトのイメージをもってもらうために使用。グラウンドの機能が大きく変わるものではないため変更前の図面を使用した。少し配慮が足りなかった。

### 教育費 グラウンド整備に遅れ

一体型義務教育学校建設事業 7億8,365万円

問

アスベストにより旧校舎の解体工事が遅れ、一定期間グラウンドが使えないことで、教育活動へ支障が出ると思うが、教育現場や保護者などの声を聞き、特段の配慮をして進めるべきでは。

答

令和4年度はグラウンドが使えないが、とうべつ学園の体育館や武道場、当別小学校グラウンドの使用など、学校現場と協議して、教育活動に少しでも影響がない方法を探っていきたい。

### 総務費 西当小のトイレ洋式化

西当別小学校・中学校感染症対策事業 4,240万円

問

石狩管内で洋式化率70%以下の小中学校は他にない。あと7基の工事を行えば71%になる。令和5年度に実施する確約はできないか。

答

令和4年度、西当別小学校のトイレは、洋式化率が28.9%から55.6%となる。数で言えば倍に改善される。倍になることで、今後は児童が並ばなくなるだろうと推測している。

令和4年5月1日現在、西当別小学校のトイレは45基のうち洋式が13基備えられており、児童数が216人であるため、「約17人で1基の洋式トイレ」を使っている状況です。令和4年度の整備で和式12基が洋式化されると、「約9人で1基の洋式トイレ」が使えるように改善されます。

※1 インターロッキングブロック舗装 …コンクリートブロックなどがお互いにかみ合うように組み合わせる舗装方法。

※2 アスベスト(石綿) …天然にできる鉱物繊維。丈夫で変化しにくい特性があるため建材などに多く使用されていたが、肺がんなどの発がん性が問題となり、現在はその使用が禁止されている。

# 保育士等処遇改善 プレイハウス運営業務

民生費

## 保育士以外の処遇改善も

令和3年度補正予算審議

問

保育士等処遇改善臨時特例事業は保育士等が対象だが、保育は保育士だけでなく園に勤める方々のチームでやっている。今回の補助は使い方に自由度があると聞かすが、当別ではどう使われるか。

答

保育士、幼稚園教諭、その他調理員などの従事職員が対象となっている。支給やその具体的な金額については、その認定こども園の裁量の中で行われるものである。



認定こども園 当別夢の国幼稚園

民生費

## プレイハウスのプロポーザル

令和3年度補正予算審議

問

※1  
プロポーザル審査には保護者代表も入っていたが、実態は子どもを預けている町職員と聞いた。結果に疑義はないが、全て町職員というのは、もう少し他に選択肢や考え方があったのでは。

答

町職員から選んだ訳ではない。選定経過には何の曇りもない。ご指摘については、今後、誤解を招かないような人選を、しっかり話し合いながら進めていきたい。



とうべつ学園のプレイハウス

【その他の主な質問項目】

キャッシュレス消費者還元事業（産業）、町職員の期末勤勉手当減額（総務）、地域防災計画に基づく避難計画等の検討（予特）、私道の除排雪（予特）、都市計画税賦課区域（予特）、断熱マンホール蓋整備（予特） など

# 「当別モデル」除排雪体制の再構築を

## 全会一致で原案どおり可決

令和4年度各会計予算審査特別委員会に付託された各会計予算案や条例案などの13件の議案について、3月16日、17日の質疑に続いて、3月18日に付託された議案全てを原案のとおり可決しました。

可決とはなりましたが、除排雪については、大雪や災害に対応できる「当別モデル」の除排雪体制の再構築に取り組むこと、また、トイレの洋式化をはじめとする充実した教育環境の整備に万全を期すことの2点を付して、委員会報告としました。



令和4年度各会計予算審査特別委員会

委員長 秋場 信一 副委員長 佐藤 立

委員 議長を除く14名の議員

起草委員会

委員長 山田 明

委員 島田 裕司 五十嵐 信子 西村 良伸

(予算委員会の報告文書を作成する委員会)

※1 プロポーザル方式…業務委託先などを選ぶ際に、事業者へ企画提案をしてもらい、最も優れた企画提案をした事業者を選ぶ方式。

## 一般質問

佐々木 常子 議員

質問の  
ねらい

## 安心・安全の当別町に

住民の皆様が暮らしやすい良い町にしていくためには、住民参加のまちづくり地域コミュニティの活性化が大切である。昨年も今年も大雪となり、除排雪が間に合わない危険な状態もあった。除排雪体制の改善が

必要である。共通した課題もあるが、地域ごとの課題もある。豪雪地帯の当別町で暮らしていくには除排雪の問題は大きく、今までも地域での助け合いはあったが、行政と力を合わせて新たな体制の構築を図りたい。

ここが  
聞きたい

## 除排雪の改善が必要

**問** あまりにも除排雪作業が間に合っていない。生活道路の幅も狭く、大きく波打って厚みが1mにもなる地域もあった。どうにか業者を増やすことはできないのか。

**答** 除排雪の最大の課題は、事業者不足、マンパワー不足と認識。来シーズンは、事業者や人員の確保に向けて、当別環境整備協同組合、当別町除排雪連絡協議会と早々に協議していきたい。

ここが  
聞きたい

## 町民の力を

**問** 除雪機を持っている個人に補助金を払い、その地域の除雪をお願いすることはできないか。

**答** 過去にも協議したことがあるが、事故を起こした時の責任問題や保険関係など、さまざまな問題が混在しているため、実施は難しい状況にあると考えている。

ここが  
聞きたい

## 重くのしかかる置き雪

**問** 多くの町民から置き雪の処理に困っているとの声が寄せられている。費用負担をしてでも何とかならないかとの声もある。歩道用除雪機を使う等、各家庭の出入口を開けることはできないか。

**答** 置き雪は必ず生じるので、各家庭のご協力をお願いしている状況。来シーズンは、町内会への除雪機貸与を間口除雪にも拡大できないか等、冬の生活を快適に過ごせるよう研究を進めていく。



道路の雪の状況

ここが  
聞きたい

## 動物愛護管理思想の推進

**問** 道は、多くの関係団体が連携して、動物愛護思想の推進に取り組む機運を醸成していくとのこと。当別町においても野良猫を救う具体的な仕組み、方法、手順などを構築すべきでは。

**答** 関係団体との連携は大切であるので、道の動向を注視していく。町による保護等は現在考えていないが、動物を飼う方のマナーやモラルが、さらに向上されるように広報で周知していきたい。

ここが  
聞きたい

## 道動物愛護管理センター

**問** 道は動物愛護管理センター開設の方針を固め、2023年度の本格運用を目指すと発表。多くのことはできなくとも、町として野良猫の避妊去勢手術の助成金を出すことなどはできないか。

**答** 除排雪等との優先度の問題があり、住民のニーズがどこにあるか総合的に判断していかなければならない。この件に関しては、現段階で、町として取り組みを行う段階ではないと判断した。

# 一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の  
ねらい

## 町の将来の問題、町挙げて運動を

水田活用の直接支払交付金見直しは、農業関係者のみならず不安を与えている。不安の解消と地域・集落の維持・継続にも視点を当てた解決が求められることから、町挙げて運動すべきと質した。感染拡大が継続

している。オミクロン株の特性に応じた保健医療体制の構築について質した。ゼロカーボン推進計画では、風力発電についてどのように考えていくのか質した。



頭を垂れる稲穂

ここが  
聞きたい

## 町挙げて運動を

**問** 今回の急な政策転換は、離農者の増加による地域崩壊に繋がりがねないものである。当別町の将来がかかった問題であることから、町挙げて運動をすべきでは。

**答** 基幹産業を農業とする多くの道内自治体にとって大きな問題。一自治体で行動するよりも、道や町村会と連携し、オール北海道で行動するほうが効果的なため、他団体と連携して対応していく。

ここが  
聞きたい

## リーダーシップ発揮を

**問** 12月議会では、米政策見直しに対する意見書を採択し、全道全国の農家や議会に勇気を与えた。オール北海道で取り組む場合、当別町がリーダーシップを取り、北海道を引っ張っていく考えは。

**答** あらゆる機会を通じ、国に対して激変緩和の対応についてお願いしていく考え。農業関係団体の皆様とも協議しながら一緒に行動していきたい。

ここが  
聞きたい

## 今一度強いメッセージを

**問** オミクロン株「BA.2」への置き換わりについて、3月末から4月にかけて懸念されている。医療ひっ迫の現状を踏まえ、今一度、町長から強いメッセージを発信すべきでは。

**答** メッセージの発信については、総合的に正確な知見を得た中で、適切に対応をしたいと考えている。町内の具体的な感染状況を分析して、どうするのか発信をしていきたい。

ここが  
聞きたい

## 国保税の引き下げを

**問** 今議会で提出された国保特別会計補正予算では、国民健康保険財政運営基金積立金として、4,500万円が計上された。令和4年度の国保税は基金を取り崩し、引き上げを止めるべきでは。

**答** 令和4年度の国民健康保険税の改定では、資産割の廃止、賦課限度額見直し等の影響もあり、国保加入世帯の所得にもよるが、全般的に国保税が下がる傾向であるため、基金取り崩しはしない。

ここが  
聞きたい

## 風力発電は含むべきではない

**問** 新規事業のゼロカーボン推進計画の策定では、風力発電について、どのように考えていくのか。

風力など技術革新による新しい方法も考えられる。しかし、健康被害や景観、環境への影響がある場合は考える必要があるため、町民や議会の動向に配慮して計画づくりを進めていきたい。

**答** 風力も重要な自然エネルギー。除外は考えていない。少低周波音の小型



## 一般質問

山崎 公司 議員

質問の  
ねらい

### スウェーデン大通の歩道整備を

スウェーデン大通は、開通から29年が経過。道路両面の歩道はデコボコ状態。歩道の改修計画と無電柱化を提案して、検討するよう質した。また、新型コロナウイルスが道内で確認されて2年が経過したが、

長引くコロナ禍による町内の課題に対して、どのように対応しているのか質した。さらに、令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果と課題解決方法について質した。

ここが  
聞きたい

### 歩道の整備を

問

歩道の電柱や植樹は、強風で倒れたり、除雪作業の障害となる。歩道整備にあたり、植樹は伐採や間引き、品種変更等、電柱は撤去し街路灯のみにするなど、住民の声を聴いて検討しては。

答

歩道はインターロッキングブロックかアスファルトか、電柱や街路樹にも住民の多様な意見があると思うので、西当別連絡協議会など地域の意見をくみ取り、方向性を確認して進めていく。



歩道の植樹や電柱 (本人提供)

ここが  
聞きたい

### 無電柱化を

問

無電柱化は、電柱倒壊の危険がなくなったり、歩道幅が広がるなど、防災や交通確保、景観形成、観光振興などの面でメリットがある。スウェーデン大通の無電柱化を検討しては。

答

無電柱化は、防災や景観などの観点から、近年その必要性が高まっていると認識。しかし、費用や維持管理、権利者との調整など地域の合意形成が課題であり、現時点で導入は考えていない。

ここが  
聞きたい

### 感染予防対策を

問

町内のコロナ感染者が1月132人、2月127人と急増している。小中学校、役場庁舎、高齢者施設では予防対策をどのように徹底しているのか。

答

発熱等の症状が出た場合、学校では速やかに出席停止や学級閉鎖等の処置、役場では自宅での経過観察や検査、高齢者施設では、検査や保健所の助言を受けるなどの対策を徹底している。

ここが  
聞きたい

### 今後の感染対応策

問

新型コロナウイルス感染症に収束の気配がない。給付金やワクチン接種を進めているが、次々にやってくる感染の波に対して、今後どのように対応したら良いと考えているか。

答

ワクチン3回目接種の計画的実施、高齢者施設等のクラスター防止、手洗い、マスク、3密回避など基本の徹底が重要。また、国などの支援策と合わせ、町も必要な施策を実施する考えである。

ここが  
聞きたい

### 全国体力テスト

問

令和3年度の小中学校の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果は。

答

体格は全国平均以上、運動能力は平均とほぼ同レベル、習慣等では運動

に対して児童生徒の前向きな姿勢が明らかになった。反面、スマホ等メディアに触れる時間が長いという課題が浮き彫りになった。体力向上プランを軸に、家庭、地域、学校と一体となり児童生徒の健全育成を進めたい。

# 一般質問

稲村 勝俊 議員



質問の  
ねらい

## 次世代に継承可能な農業政策を！

当別町農業の現状、水田活用の直接支払交付金の見直しにより想定される影響と対応、人・農地プラン実質化に向けた基礎調査や課題の検証、生産性が高い地域農業を持続可能なものとするために、当別町農業

の将来像について地域の合意形成を図り共通認識としていく農業政策について質した。

ここが  
聞きたい

## 人・農地プラン実質化は

問

農地集約化に関する将来的な方針を作成する「人・農地プラン実質化」について、令和2年から基礎調査を行っているが、概要と特徴的な傾向や課題は。

答

町内 19 地区中 2 地区は 10 年以内に 10 名以上が離農予定。農業者全体のうち後継者がいない 60 代以上が 3 割。交付金見直し前の調査のため、現状はより厳しさを増していると思われる。



田植えの様子

ここが  
聞きたい

## 地域計画の策定は

問

水田活用直接支払交付金の見直しによるさまざまな課題がある中で、地域の合意形成の進捗が懸念される。対応方向との連動、整合性の考え方など地域計画策定の取り組みは。

答

人・農地プランは、制度改正が行われる見通し。改正内容を踏まえ、町としても大変革となる水田活用の直接支払交付金に即した地域計画を策定し、必要な対策を講じていく。

ここが  
聞きたい

## 当別町農業の将来像

問

自己選択、自己責任の原則ではあるが、厳しい農政の転換期、さまざまな課題の中で、将来構想を広い世代からの合意形成を図り、共通認識としていくことが大切では。

答

転換期だからこそ、課題や方向性について農業者が地域で話し合い、共通認識を持つことが肝要。農業 10 年ビジョンも、将来担い手となる方など幅広い世代の意見を聞き改定していきたい。



稲刈りの様子

ここが  
聞きたい

## 農地基盤整備の取り組み

問

担い手が減少する中、効率的な土地利用が持続可能な当別町農業を可能にする。技術革新が急進する農業の継承に最も必要で基礎となる農地の基盤整備を行うべきでは。

答

町としては、将来の農業につなげていくためにも、基盤整備に取り組んでいく考えだが、補助の在り方については、関係団体や農家の皆さんと協議をする中で、どうあるべきか考えていきたい。



## 一般質問

佐藤 立 議員

質問の  
ねらい

### 公園遊具整備の早期再開を

公園施設の大半で老朽化が進んでいることから、平成29～令和8年度までの10カ年の公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の更新に取り組んでいる。これまでに阿蘇公園とライラック公園に大型コンビネー

ション遊具が設置された。しかし、令和3年度から同計画に基づく事業が予算化されていないことから、今後の方針を伺う。また、子どもの読書活動を支える図書館や学校等の体制のさらなる充実について伺う。

#### ここが聞きたい 遊具の整備を進めるのか

**問** 公園施設長寿命化計画に基づく公園遊具等の整備に関する予算が、令和4年度当初予算に計上されていない理由は何か。

**答** 計上したい思いはあったが、町全体の予算配分を精査する中で、やむを得なかった。令和5年度の事業実施に向けて取り進めていきたい。

#### ここが聞きたい あいあい公園等の整備は

**問** 公園施設長寿命化計画は令和8年度までの計画。計画に記載されている未実施の阿蘇公園の修景<sup>※1</sup>施設（池）等、あいあい公園・もみじ公園・栄公園の遊具等は期間内に実施されるのか。

**答** 期間内での実施が基本だが、総合的に施策展開する中で、やむを得ず未着手とすることもある。次期計画に改めてスライドさせる必要が生じた場合は、都度判断していく。

#### ここが聞きたい コロナ休館中の図書貸出

**問** 新型コロナウイルス感染症による休館中、図書館では予約図書の貸出を火～金曜日の10～12時に行っていた。今後は、より利用しやすい貸出時間とすることが必要ではないか。

**答** 利用者の都合を聞き、10～12時以外でも対応していた。貸出時間の周知は、もう一工夫必要と考えている。今後、同様の事態となった場合には、より利用しやすい時間となるよう努めたい。



当別町図書館内部（錦町）

#### ここが聞きたい 幼児期の読書推進の重要性

**問** 「当別町子どもの読書活動推進計画（第3次計画）」は、前計画と比べ、幼保小中の区別、保育施設に関する言及がないが、幼児期の読書活動推進の重要性や優先度に何ら変わりはないか。

**答** 幼保小中一貫の観点から一本化したことや、読書の意義について施策中心に記載するよう変更したために生じたもの。保育施設の重要性、優先度の考え方は変わらない。

#### ここが聞きたい 学校司書配置を目指すのか

**問** 「当別町子どもの読書活動推進計画（第3次計画）」に明記はないが、学校司書配置について可能な限り配置を目指すという考え方に変わりはないか。

**答** 学校司書の重要性や優先度については何ら変わらない。学校司書の重要性は認識しており、配置を目指して取り組んでいきたい。

※1 修景…都市計画や道路計画などで、自然の美しさを損なわないように風景や景観を整備すること。

# 一般質問

櫻井 紀栄 議員

質問の  
ねらい

## 子育て世帯の支援にリアルな声を

出産に関する指標とされる15～49歳の女性の人口が5年間で15%減となっている。人口増加のための事業成果が十分に挙げられていない可能性が高く、事業の見直しや検討が再度必要であると考え、①確実に

事業を実施できるよう予算の在り方の見直しと新しい仕組みづくり、②MY助産師制度による妊娠、出産、産後の継続ケア、③読書離れ解決へ子どもの興味、関心を考慮した取り組みの3点について質した。



次のページは

ここが  
聞きたい

## 町民提案方式で事業実施を

**問** 優先度が低く予算が付かなかった事業などは、クラウドファンディング方式のふるさと納税で資金を集めて、町民が使い道を提案する仕組みを構築すべきでは。

**答** ふるさと納税の活用については、町民や議会の意見を踏まえ、まちづくりに資するものとして、町が総合的に判断して事業に充当している。今後もその考え方を基に活用していく。

ここが  
聞きたい

## 母子にとって有効な支援が

**問** 国の令和4年度予算案に、地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援等の推進とあるが、当別町ではどのように取り入れていくのか。

**答** 令和4年度から産後ケア事業を開始し、母子への心身ケアや育児サポートなど、安心して子育てができる体制確保に向け、医療機関や助産師等と連携し、切れ目のない支援を目指していく。

ここが  
聞きたい

## 助産師による継続ケアを

**問** 妊娠、出産、産後、育児まで継続的に関わることが何より重要。同じ助産師による継続ケアを受けたいとの声も多くあるが、継続ケアの重要性についての考えは。

**答** 必ずしも同じ助産師のケアが必要とは感じていない。町内に出産施設はないが、妊婦の希望や状態に合った産婦人科等が選びやすい地域であり、必要なケアは受けられていると考えている。

ここが  
聞きたい

## 当別 MY 助産師制度導入へ

**問** 助産師による妊娠中の保健指導や訪問事業について、チャットや会議ツールなどを用いて、24時間オンライン相談ができる産前産後サポート事業が必要では。

**答** 令和4年度から産後ケア事業を実施する他、これまで同様に保健師への相談ができる状況。また、救急安心センターさっぽろの電話相談は、24時間利用できるものとなっている。

ここが  
聞きたい

## ブックスタートの見直しを

**問** 子どもが本に親しむには、おもちゃとして気軽に触れることが効果的。ブックスタート事業で、おもちゃ絵本1冊か絵本2冊、どちらが良いか選べるようにするなど試験的に実施しては。

**答** 贈呈する絵本は、有識者や司書教諭、保育教諭、読み聞かせボランティアからなる当別町子ども読書活動推進委員会で選定しているので、その決定に委ねたいと考えている。



お風呂でも読めるビニール製の絵本（本人提供）

議案の審議結果  
定例会では、  
質疑や討論と採決が行われました。



## 《第1回定例会》

## ロシアへの非難決議を採択

## 【関連議案】

ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議について

令和4年2月24日に開始されたロシアによるウクライナ侵略について、当別町議会として厳しく非難し、ロシア軍の攻撃停止と即時撤退、平和的解決を行うよう強く求めるため、ロシアに対する非難決議を全会一致で採択しました。



## オンライン委員会の試行



## オンライン会議の様子

議会広報特別委員会で、オンライン委員会の試行を行いました。

条例上、感染症等による緊急事態に限りオンライン開催が可能となっていますが、今回、試行的に各委員の自宅と議会事務局をオンライン接続して、スムーズに利用できるかなど、実際に打ち合わせをしながら検証を行いました。

PC操作に慣れることや、どのような活用ができるかなど、今後も研鑽していきます。

## 令和4年第1回定例会

日程：3月3日～3月18日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴は制限 議会中継視聴回数 1,775回 (5/19現在)

## 【議員提案】

ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議について

◎

p.20

## 【専決処分】

令和3年度一般会計補正予算（第12号）

子育て世帯等臨時特別支援事業に伴う費用等を増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの

◎

令和3年度一般会計補正予算（第13号）

寄附金の増加により、増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの

◎

p.7  
～  
p.13

令和3年度一般会計補正予算（第14号）

感染防止対策協力支援に伴う費用を増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの

◎

## 【補正予算】

令和3年度一般会計補正予算（第15号）

9億8,382万円を増額し、総額を179億2,930万円とするもの

◎

p.7  
～  
p.13

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

1億6,903万円を減額し、総額を20億288万円とするもの

◎

-

令和3年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

1,731万円を増額し、総額を17億2,766万円とするもの

◎

-

令和3年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）

585万円を減額し、総額を10億3,339万円とするもの

◎

-

令和3年度水道事業会計補正予算（第2号）

収益的支出の資産減耗費を62万円減額等するもの

◎

-

## 【人事案件】

副町長の選任について

副町長増輪肇氏が令和4年3月31日で任期満了となることから、同氏を再任するため、議会の同意を得ようとするもの

◎

-

## 【条例】

当別町手数料条例の一部改正

住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正

◎

-

## 【請願・陳情】

《令和4年第1回定例会（3月）産業厚生常任委員会へ付託》  
「水田活用の直接支払交付金見直し」の再検討を求める意見書の採択を求める請願書

〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体

〔紹介者〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫

※上記交付金見直しについて、地域実態の反映など再検討を求めるもの

継続

-

《令和4年第1回定例会（3月）総務文教常任委員会へ付託》  
町立当別小学校「跡」の利活用に関する陳情書

〔提出者〕特定非営利活動法人ゆめの種子トーベッ

理事長 堀江 三千代

※図書館等の機能を備えた生涯学習施設として当別小学校跡の活用等を求めるもの

継続

-

《令和4年第1回定例会（3月）総務文教常任委員会へ付託》  
当別町新庁舎に関する陳情書

〔提出者〕太美地域活性化プロジェクト

コアメンバー・発起人 岡田 隆範 他2名

※新庁舎建設候補地に、太美市街地の都市機能誘導区域の追加等を求めるもの

継続

-

【令和4年度当初予算関係】	
※下記の13議案は令和4年度各会計予算審査特別委員会へ付託	
令和4年度一般会計予算 総額を135億6,756万円とするもの	p.7 ~ p.13 p.21
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給与の改定を行うための条例の一部改正	※各会計予算審査特別委員会で審査し、委員会から本会議に報告
当別町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 一般職の任期付職員の給与の改定を行うための条例の一部改正	—
当別町立とうべつ学園設置に伴う関係条例の整理に関する条例制定 当別町立とうべつ学園設置に伴う関係条例の一部改正	—
当別町地域集会所に係る指定管理者の指定について 当別町地域集会所の指定管理者を指定するため、議会の議決を得ようとするもの	—
当別町社会体育施設等に係る指定管理者の指定について 当別町社会体育施設等の指定管理者を指定するため、議会の議決を得ようとするもの	—
令和4年度国民健康保険特別会計予算 総額を21億3,777万円とするもの	—
当別町国民健康保険税条例の一部改正 保険税率の改定等に伴う条例の一部改正	—
令和4年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を2億8,912万円とするもの	—
令和4年度介護保険特別会計予算 総額を16億8,704万円とするもの	p.10
令和4年度介護サービス事業特別会計予算 総額を6,606万円とするもの	—
令和4年度下水道事業特別会計予算 総額を10億274万円とするもの	—
令和4年度下水道事業会計予算 収益的収入総額を6億6,608万円等とするもの	—
令和4年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告	◎ p.13



《第1回定例会》

## 小・中学校のさらなる感染症対策を

【関連議案】

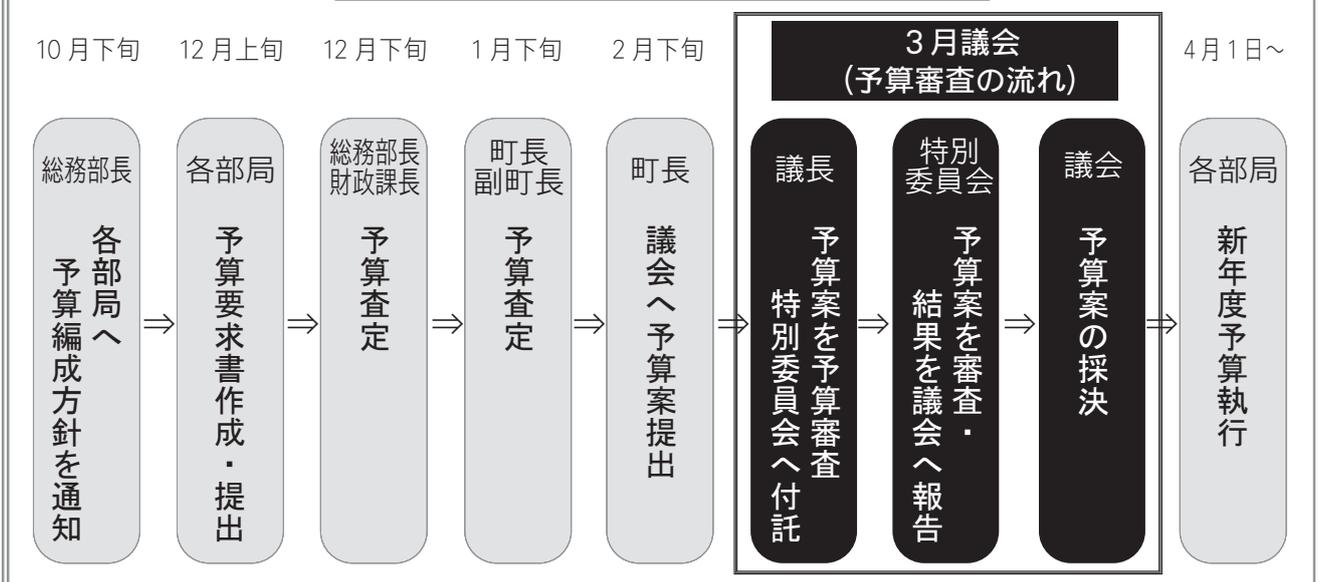
- ・ 令和4年度一般会計予算



令和4年度当初予算には、西当別小学校・中学校において、新型コロナウイルス感染症対策をさらに進めるための予算が計上されました。

両校の窓に網戸を設置するとともに、西当別小学校においては、換気対策として開放が困難となっている児童玄関の改修、また、菌の飛散を防止するため、一部の和式トイレの洋式化など、感染症対策の観点から整備が進められる予定です。

### 新年度予算執行までの基本的な流れ



祝 開校

## 当別町立とうべつ学園を視察

3/30 議員協議会所管事務調査

※カラー写真はこちら  
からご覧になれます。

一体型義務教育学校「とうべつ学園」を視察し、学校長、教頭、教育委員会担当課から説明を受けました。校内はやさしい木の温もりが溢れており、ゆとりのある造りとなっていました。



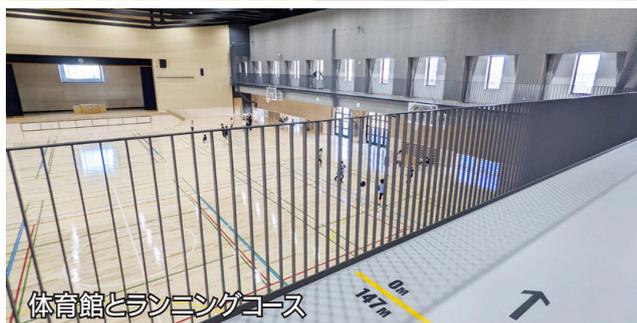
当別中学校から見た校舎外観



木の香りと光あふれるインナーガーデン



学びの質を高めるメディアライブラリー



体育館とランニングコース



自然光が差し込む技術室



交流の場となるステップテラス (左) やデン※1 (右)



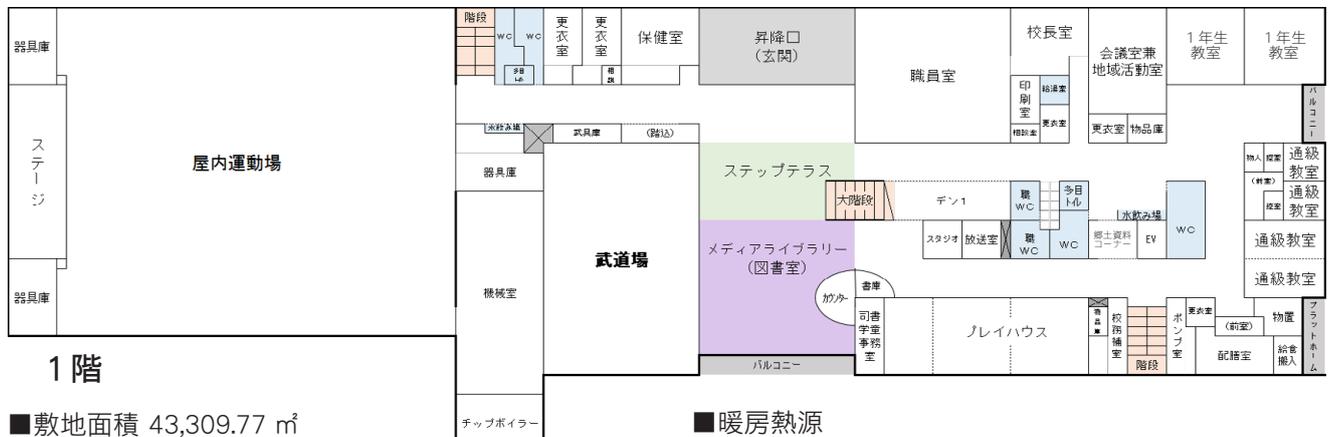
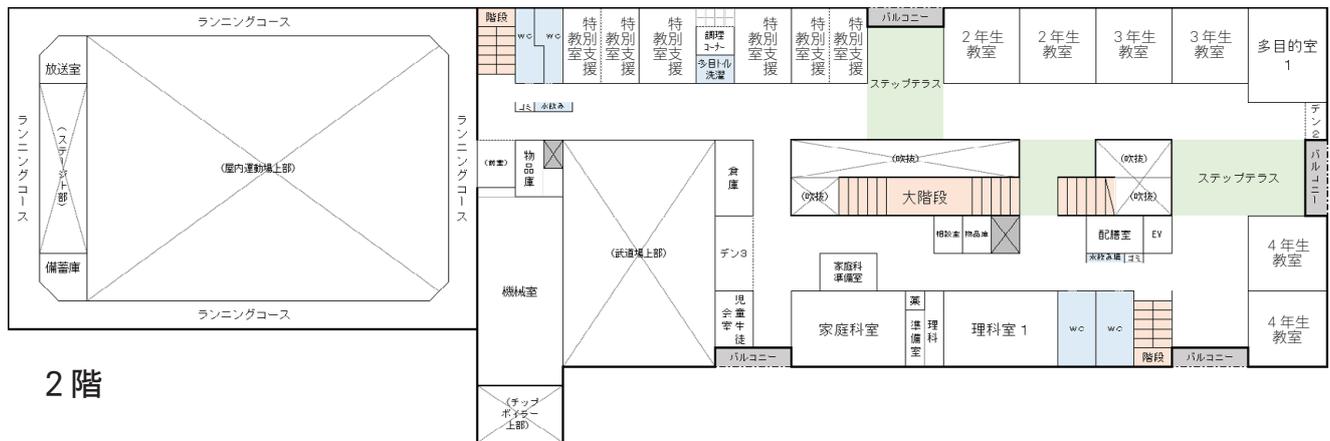
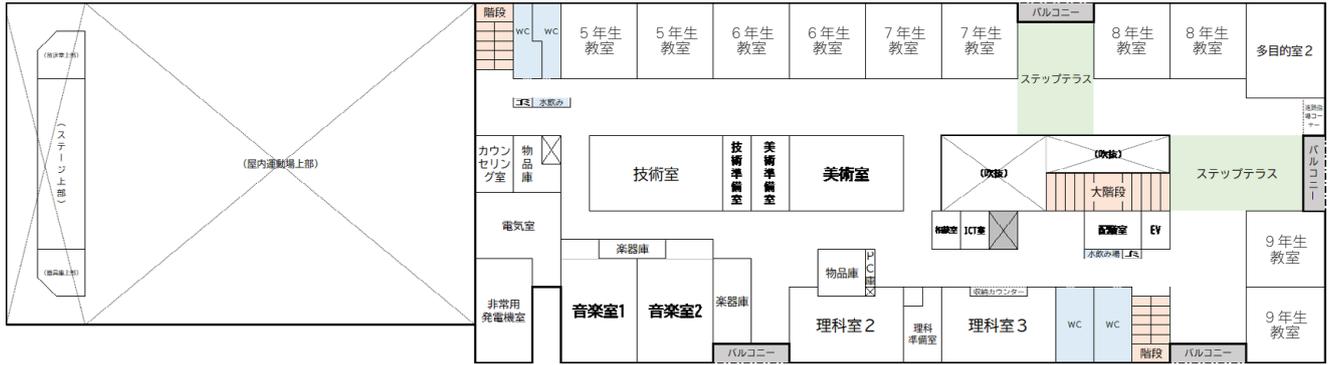
開放的な普通教室



視察記念に

※1 デン…小部屋やちょっとしたスペースを指す。英語で「ほら穴」「隠れ家」などの意味。

# とうべつ学園 概要と事業費



- 敷地面積 43,309.77 m<sup>2</sup>
- 建物の概要
  - ・構造規模 鉄筋コンクリート造
  - ・建築面積 5,772.80 m<sup>2</sup>
  - ・延床面積 12,295.90 m<sup>2</sup>
    - (校舎 9,361.06 m<sup>2</sup>) (屋内運動場 2,293.48 m<sup>2</sup>)
    - (武道場 427.55 m<sup>2</sup>) (プレイハウス 213.81 m<sup>2</sup>)
- 主要室数
  - ・校舎棟～普通教室 18、特別支援教室 6、通級教室 3、家庭科室 1、理科室 3、音楽室 2、技術室 1、美術室 1、多目的室 2、相談室 3、特別活動室 2、進路指導コーナー 1、メディアライブラリー、校務センター、会議室兼地域交流室 他
  - ・屋内運動場～バスケットボールコート 2面、バレーボールコート 2面、バドミントンコート 6面、ステージ、器具庫 3、備蓄倉庫、放送室、ランニングコース (約 147 m)
  - ・武道場～剣道・柔道 2面 (兼用)、武具庫
  - ・プレイハウス～活動室 3室

- 暖房熱源
  - ・木質バイオマス (チップ) ボイラー、重油ボイラー併用 (エネルギー使用量等情報表示装置)

	実施事業費 (令和 4 年 3 月時点)
事業費	63 億 2,450 万円
国・道補助金	20 億 9,778 万円
起債	35 億 890 万円
その他 (まちづくり基金など)	6 億 9,919 万円
町単独	1,863 万円

## 議会のうごき（令和4年2月～5月）

2月 2日	産業厚生常任委員会町内所管事務調査	3月 18日	予算審査特別委員会 第1回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会
18日	会派代表者会議	30日	議員協議会町内所管事務調査
24日	議会運営委員会	4月 1日	議会広報特別委員会
3月 3日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	14日	議会広報特別委員会
4日	総務文教常任委員会	20日	議会広報特別委員会
7日	産業厚生常任委員会	5月 6日	会派代表者会議 議員協議会
8日	第1回定例会 会派代表者会議 議会運営委員会	10日	総務文教常任委員会
9日	総務文教常任委員会	11日	議会広報特別委員会
11日	産業厚生常任委員会	17日	愛媛県宇和島市議会議長・副議長表敬訪問来庁
14日	第1回定例会	18日	議会広報特別委員会
15日	第1回定例会 議会運営委員会	20日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議会運営委員会 議員協議会 第1回臨時会
16日	予算審査特別委員会	24日	厚岸町議会行政視察来庁
17日	予算審査特別委員会 議員協議会		
18日	議会運営委員会 議員協議会		

## 令和4年6月定例会のご案内

予定 6月15日(水)～6月22日(水)  
内容 補正予算審査、一般質問など  
傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

### 議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

## 議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を制限

## ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

### 議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9  
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

## 議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信子  
副委員長 鈴木 岩夫  
委員 佐藤 立  
委員 佐々木 常子  
委員 櫻井 紀栄

## 編集後記

災害級の大雪と交通障害、新型コロナウイルス感染症と本年も大変なスタートとなりました。3月定例会では、令和4年度各会計予算審査特別委員会が開催され、役場庁舎建て替えや雪対策など活発な議論が交わされました。

3月12日には「ロイズタウン駅」が開業、4月8日には「とうべつ学園」が開校され、希望あふれる春を迎えました。

町民の皆さまと共に当別町の発展を願い、これからも議会の動きを分かりやすくお伝えできるよう努力してまいります。

議会広報特別委員会 委員 佐々木 常子